

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.381.2026



2026年9月20日発行

公益財団法人仙台 YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町 9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 加藤雄一
編集人 / 松島晃子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS

10

特集：仙台YMCA国際ホテル専門学校 ～ 2027年度開講 ホテル科2コース制へ～



YM サービス検定の様子



『魅力ある教育プログラム ～選べる学びで、広がる可能性～』

仙台 YMCA国際ホテル専門学校では、2027年度より、現在の「ホテル科」「国際おもてなし科」「国際ビジネス科」の3学科を、「ホテル科」1学科(2年制・単位制・無学年制/定員 60名)へ統合し、学生一人ひとりの学びの方向性に応じて選択できる2コース制を導入します。

背景には、学生一人ひとりが目指す進路の多様化があります。単位制・無学年制のもとで学科の枠を超えて科目を選べるようにすることで、「ホテルマネジメントコース」「国際ホスピタリティ・ビジネスコース」という将来像に応じた学びを、自分のペースで組み立てられるようになります。

授業は1コマ90分で構成し、一つひとつのテーマをより深く学べる充実した学習環境を整えます。理解度や目標に応じて学習を進めることができ、自分のペースで段階的に成長できる柔軟な学びを実現します。高校卒業生をはじめ、留学生、社会人、再進学者など、これまでのキャリアや国籍、年齢にかかわらず、ともに学ぶことができます。学年や単位の取得状況が異なる学生同士が関わることは、お互いに良い刺激となり、その出会いそのものが大切な学びとなります。

(第2面へつづく)

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。
喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。
世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

【学科・コース編成】

■ ホテル科 ホテルマネジメントコース

ホテルの運営やマネジメントを深く学び、国内のホテル・宿泊業界で活躍できるホテリエを目指す

ホテルや旅館、レストラン、ブライダル、旅行関連企業をはじめ、営業や企画など、幅広い業界・分野で活躍できる知識と技術を身につけます。

■ ホテル科 国際ホスピタリティ・ビジネスコース

ホスピタリティに国際ビジネスの視点を加え、日本と世界で幅広く活躍できる人材を目指す

幅広いビジネスの知識と技術に加え、接客サービスやビジネスマナーなどを学び、ホテル・旅館業をはじめ、さまざまなビジネス分野への就職を目指します。



【選べる学び】

■ 単位制

授業時間数だけではなく、「何を身につけたか」を大切に

これまで、「年間 800時間以上」という授業の総時間数を基準としていましたが、単位制の導入により、それぞれの科目に必要な学修を行い、定められた基準を満たして単位を修得することを、学びの成果として捉える仕組みへと変わりました。単位制では、授業に出席することだけを目的とするのではなく、「何を学び、何を身につけたか」を大切にします。2026年度から始まったこの単位制を基盤として、2027年度からはさらに無学年制や選択科目を組み合わせ、一人ひとりの学修状況や将来の目標に応じて、自分の学びを組み立てられる教育へと発展させます。

■ 無学年制

学年の壁をなくし、自分の学びを自分でつくる

単位制の導入により従来の「1年生・2年生」という学年の枠にとらわれず一人ひとりの学修状況に応じて学びを進める無学年制を導入します。2年間在籍し、卒業に必要な単位を修得することで卒業を目指します。学年という枠をなくすことで、学生同士が異なる学修段階で学び合い、互いに刺激を受けながら成長できる環境をつくります。

■ 授業科目の一部選択制

自分の興味・関心に合わせてカリキュラムをつくる

各コースの基本的な科目は必修として学びます。その上で、選択科目の中から自分の興味や関心、将来の目標に合わせて科目を選び、自身のカリキュラムを組み立てます。

「ホテルについてもっと深く学びたい」・「接客サービスを身につけたい」・「ビジネスや語学を学びたい」、それぞれの目標に合わせて、自分だけの学びをつくることができます。

■ 1コマ 90分授業

一つのテーマをじっくり、深く学ぶ

高校までの一般的な 50分授業から、大学と同様の 1コマ 90分授業へ変更します。

一つのテーマにじっくり取り組む時間を確保し、講義だけではなく、演習や実技、グループワークなどを組み合わせながら、知識と技術を実践的に身につけます。

【デュアルシステム】 ～ 学びながら働く・働きながら学ぶ ～

この夏も、7月20日(月)から9月18日(金)までの約2か月間、50名の学生が全国25か所の協力施設で実習に取り組みしました。

実習先は宮城県内にとどまらず、北は北海道から南は沖縄県まで。学生たちは、それぞれのホテルや旅館で、実際の現場に立って学びました。実習している各ホテルや旅館を訪問すると、笑顔で「楽しい」「将来ここで働きたいです」と目を輝かせる学生がいる一方、慣れない環境や業務の厳しさに「大変です」と素直な本音を語る学生の姿もありました。留学生の中には、「温泉に入るのは初めてで、とても驚きました」と、日本文化を初めて体験した喜びを嬉しそうに話してくれる学生もいました。それでも、多くの実習先担当者の皆様からは、「一生懸命頑張ってくれています」、「お盆の繁忙期にとても助かりました」といった温かい評価をいただくことができました。学生からは、「リピーターのお客様が自分のことを覚えてくださり、話しかけてもらえたことがとても嬉しかった」という声も聞かれました。

また、休日には近隣のホテルに宿泊したり、ホテルのラウンジを利用したりするなど、さまざまなサービスの違いを自分自身で体験し、積極的に研究する頼もしい姿も見られました。それぞれの施設指定のユニフォームに身を包んだ学生たちは、普段以上に身だしなみが整い、一段と凛々しく見えました。現場で働くことが、学生たちの意識や表情を大きく変えていることを実感しました。一方で、実習先の皆様からは、「以前に比べて、留学生の採用が難しくなっている」、「現場では、これまで以上に高い日本語能力が求められている」といった、業界が抱える課題や現状についてもお話を伺いました。

学生にとって実習は、仕事を体験するだけではありません。ホテル・旅館業界が今どのような人材を求めているのかを知り、自分自身に必要なのかを考える貴重な機会でもあります。実習を終え、一回りたくましく成長した学生たちと再会することが、今からとても楽しみです。今回の現場での貴重な経験が、これからの学びや就職活動における大きな自信と力になることを期待しています。

【2026年度の主な実習先】

ホテルオークラ東京、ホテル鹿島の森、ホテル椿山荘東京、箱根小涌園 天悠、富士屋ホテル、アオアヲ ナルトリゾート、ホテルゆもと登別、リザンシーパークホテル谷茶ベイ、オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ、ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄、軽井沢プリンスホテル、ホテルメトロポリタン仙台、メルキュール宮城蔵王リゾート&スパ、ラフォーレ那須、松島一の坊、愛隣館、ANAホリデイ・イン仙台、仙台ロイヤルパークホテル、エクシブ蓼科、エクシブ鳥羽、ラフォーレ修善寺、ウェスティンホテル仙台、株式会社TEJ イリホテル、山王サービスクリエイイト、奥州秋保温泉 蘭亭



【実践的授業】

■ YMサービス検定

ホテル・旅館などの接客業に必要な基礎的な知識や、接客マナー、サービス技術を実践的に学ぶ授業を取り入れています。その代表的な授業の一つが、レストランサービスです。

料飲サービスやレストラン接客に関する知識・技能を証明する国家資格である「レストランサービス技能検定（HRS検定）資格」の取得を目指し、1年生の段階から実践的な学びに取り組みます。その成果を確認する学内検定として実施しているのが、「YMサービス検定」です。YMサービス検定では、HRS検定の実技試験を参考に、朝食サービスを想定した実技に取り組みます。お客様をお席へご案内するところから、オーダーテイク、料理の提供、パッシング、テーブルのリセットまで、一連のレストランサービスを10分間で行います。1年生の早い段階から実践的なサービスに取り組むことで、基本的な接客技術を身につけるとともに、HRS検定取得への意識を高めていきます。

そして、このYMCAオリジナルの検定試験に合格した学生には、YMCAの学生の誇りでもある「金色のYMCAバッジ」が、校長から手渡されます。技術を身につけること。人に喜ばれるサービスを知ること。そして、自分自身の成長を実感すること。一つひとつの経験が、未来のホテルエへの力になります。

「人を大切にする」教育は、これからも変わらない

YMCAが目指しているのは、ホテル業界で活躍できる人材を育てることだけではありません。人と人とのつながりを大切に、日本と世界をつなぐことのできる人を育てたい。私たちは、そんな思いを持って学生たちと向き合っています。

「日本に来てよかった」、「仙台で学んでよかった」、「YMCAで学んでよかった」、学生たちに、そう思ってもらえる学校でありたい。そのために、2027年度、私たちは新しい一歩を踏み出します。

変化する時代に合わせて、学校も変わっていくでしょう。しかし、人を大切にするというYMCAの教育は変わらずにあり続けます。



YMCA と私

YMCA 加茂こども園

ひかり組保護者 / 永埜 文子さん

YMCA加茂こども園には、現在11歳を迎えた長女が0歳児の時よりお世話になり、今は6歳の長男が在籍させて頂いております。長女の年齢＝YMCAと歩んできた子育て人生となります。長い月日に感じるようですが、あっという間の11年でした。

長女の妊娠を機に前職を退職せざるを得なくなり、出産・育児は何もかもがゼロからのスタートでした。社会復帰として介護職を志し、職業訓練に通おうと考え保育園を探す事になりました。ですが、希望を出した保育園はすべて落選。途方に暮れている所に役所の窓口の方が当時のYMCA加茂保育園を紹介してくれた事が幸運の始まりとなりました。

保育園がどんな場所でどんな環境あるのかすら分からなく、ドキドキしながら見学をさせて頂いた時、YMCAの子どもたちが抱っこしている0歳の長女を見て、屈託のない笑顔で「かわいい」「一緒に遊ぼう」と声をかけてきてくれました。素敵な子どもたちがいる、ここなら大丈夫、と安心した事を覚えています。今思えば、上の年齢の子どもが下の年齢の子を思いやり、自身の成長につなげ、それが受け継がれていく異年齢保育の素晴らしさが出ていたのだと思います。お陰様で長女は子どものお世話が得意で、保育士への憧れもあるようです。末っ子体質の長男も、園ではお兄ちゃんの顔を見せてくれます。また、介護士になった私にとって分野は違えど、先生方の子どもたちへの接し方、前向きな考え方、特に褒め方は学ぶべき事が多く、こっそり参考にさせて頂いておりました。

ご縁があり、長女は年長時から5年生になる今でもYMCAのサッカークラスに在籍し、今年からは長男も同じクラスで念願のサッカーを始めました。運動が苦手な長女がYMCAのチームでプレイする事は楽しいと、辞めずに続けられたのは、リーダーの皆様とチームメイトの温かい声がけと優しさのお陰だと思っています。私たち家族はYMCAの皆様の愛情、優しさに支えられてきました。子どもたちの心の基礎にその思いがいつまでも残るものだと思っています。



維持会費 (8月16日～9月15日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

◆ 一般会員

維持会員A	鵜浦正臣
維持会員B	加藤 研
法人会員B	(有)親愛社

※敬称略



絵：伊勢文夫さん

一般会員・サポート会員を 随時募集中です

ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7533
FAX:022-222-2952

